

「コンパクトなまちと公共交通のあり方に係る住民説明会」開催概要

1 開催目的

6月4日から7月3日の期間でパブリックコメントを実施する周南市立地適正化計画及び周南市地域公共交通網形成(再編実施)計画で掲げる人口減少社会に対応した将来のまちづくりの方向性、考え方について、市民の意見等を直接聴取する。

2 説明会対象区域

都市計画区域に限らず、市内全域を対象に実施する。具体的には、中心市街地周辺(大津島含む。)、市街地東部(久米、櫛ヶ浜、鼓南)、市街地西部等(富田、福川、菊川、和田)、周南西部(夜市、戸田、湯野)、周南東部(熊毛地域)、周南中部(須々万、長穂、向道、中須)、周南北部(鹿野地域)の7箇所を各1回。

3 開催日程

6月18日～6月27日のうち、7日。19時から1時間半程度。

4 説明内容(30～40分)

- ・ 周南市立地適正化計画(改定素案)の概要
- ・ 公共交通網の再編について

5 参加者

延べ86人。主催者側参加者は、都市政策課、(株)防長交通。

6 主な意見

公共交通に関すること

- ・ 民間事業者は会社経営の側面もある中で、路線網の見直しに対し、民意がどこまで反映してもらえるのか。
- ・ 鉄道とバスの接続について、密に連携してほしい。
- ・ 路線の見直しにあたり、近隣市との連携はどうか。
- ・ 市街地循環線の様な先進的な取組みは、実証運行終了後も継続してほしい。
- ・ 外出機会の創出が出来れば、まちの活性化に繋がると思うが、バス等利用運賃の助成などの施策は考えているか。
- ・ 免許返納者に対し、バス等利用運賃の助成は考えているか。
- ・ 地域や交通事業者に対して、コミュニティ交通の導入を行政サイドから積極的に働きかけた方が良いのではないか。
- ・ コミュニティ交通の担い手の確保など、持続性をどう考えているか。

その他

- ・ 周南団地は、地域全体が高齢化し寂しい。
- ・ 都市機能誘導方針に「将来を担う若い世代の就労・結婚・妊娠・子育てを支援する施設やサービスを充実する。」と定めがあるが、若い世代の就労支援とは具体的にどのような取組みをしているのか。